

## 羽村市事業仕分け 議事録

<b>実施日</b>	平成 22 年 12 月 11 日（土曜日）
<b>会 場</b>	市役所 4 階会議室（第 2 会場）
<b>事業名</b>	2 - 3 図書館の管理運営事業
<b>出席者 （敬称略）</b>	【コーディネーター】進邦徹夫 【仕分け人】双木達雄、塩田篤、伊藤保久、石川美紀
<b>担当課</b>	図書館
<b>質疑応答</b>	<p>（仕分け人）8 市町村との広域連携を行っているということであるが、どの自治体の図書館も同じ条件で広域利用できるのか。</p> <p>（説明者）ほとんど同じであるが、羽村市においては、本のリクエストをできるのは、市内在住在勤在学の方である。</p> <p>（仕分け人）広域利用事業負担金は、すべての市町村が同じ金額であるのか。また、負担金はどのように活用されているのか。</p> <p>（説明者）人口割と均等割で算定されており、各市町村で負担金の額は違う。負担金の用途としては、パンフレットやポスターを作成している。</p> <p>（仕分け人）シートに記載されている貸出件数とは、市民が他の市町村の図書館を利用して借りた件数であるのか。</p> <p>（説明者）平成 21 年度の貸出件数の内訳で説明すると、総貸出数 439,525 件のうち 71,920 件については、広域連携として羽村市が他市町村の方へ貸出した件数である。</p> <p>（仕分け人）市民が他の市町村の図書館で借りた件数は把握しているか。</p> <p>（説明者）今、手元にデータを持っていない。羽村市から他市町村の方へ貸出した件数については、平成 21 年度でいうと、青梅市 37,867 件、福生市 10,699 件、あきる野市 4,053 件、瑞穂町 17,738 件、日の出町 1,027 件、檜原村 53 件、奥多摩町 474 件、その他、仮登録資料等で集計できなかったものが 9 件となる。</p> <p>（仕分け人）市民が他の市町村の図書館から借りた件数と、他の市町村民が羽村市の図書館から借りた件数の割合によって、負担金の額を決定するという検討はできないか。</p> <p>また、負担金の用途については、パンフレットなどの作成に使うのではなく、各市町村の図書館運営に活用するといったことはできないか。例えば、図書館整備を充実したことで、他市町村民への貸出しが増加するとすると、市民に不公平感が生まれるのではないか。各市町村が負担金を運営費に充てれば、図書館整備の充実が図られ、不公平感が生じないものと考ええる。</p> <p>（説明者）広域連携については、西多摩地域広域行政圏協議会という組織があるので、そこでお話させていただきたい。なお、羽村市でいうと、平</p>

成 13 年に新図書館を開館したが、建設中、市民は他の市町村の図書館を利用していたり、完成後は他市町村の利用が増えたりした。

また、他市でも同様なことがあり、お互い様という面がある。

**(仕分け人)** 図書館に置いている雑誌についてであるが、雑誌の場合、例えば I T 関係の雑誌などの内容は日進月歩みたいところがある。そのような中で、図書館に置いておくべきものであるのか。図書館に置く図書は、長期間活用できるような内容のものに限定し、雑誌などは個人的に購入してもらえばよいのではないのか。雑誌の選定基準はどうなっているのか。

**(説明者)** 雑誌の選定方針では、まず 1 番目として、週刊、隔週や月刊誌等を中心に各分野にわたりバランスよく選定する。2 番目として、最新の技術や情報を補えるような即時性の高い雑誌を選定する。3 番目として、年間を通じて定期的な刊行実績のある雑誌を選定する。4 番目として、年度途中においても利用実績やリクエスト等を勘案して雑誌の変更を行う。5 番目として、出産や子育て関連の雑誌の充実を図る、と定めている。

**(仕分け人)** 選定基準があるのはわかったが、雑誌の選定にあたっては、図書の購入に影響のないよう柔軟な運用をお願いしたい。

**(説明者)** 了解した。

**(仕分け人)** 分室及び図書室の利用者数と利用状況を教えていただきたい。

**(説明者)** 分室及び図書室の利用者数についてはカウントしていないので把握していない。貸出件数については、平成 21 年度実績として、加美分室 3,692 件、富士見平分室 3,939 件、川崎分室 2,833 件、小作台図書室 22,849 件となっている。

**(仕分け人)** 図書館本館が新しく建設されたことによって、4 つの分室及び図書室を今後も存続させる必要があるのか検討したことはあるか。

**(説明者)** 図書館については、半径 700 メートルの円を描いた範囲内に 1 館あるのが妥当といわれており、そのようなことで羽村市においても本館を除き 4 館を運営している。

現在、子どもの読書活動の推進が叫ばれており、先般の新聞報道でもあり、昨年実施した国際学習到達度調査によると、読解力の結果は前回の 15 位から 8 位と順位を上げている。この結果は、読書活動の普及に取り組んできた成果ではないかと考えている。

また、羽村市では、羽村市子ども読書活動推進計画に基づき、学校とのタイアップを図りながら、小さい子どものうちに読書習慣を培う取組みを行っているところである。

**(仕分け人)** 半径 700 メートルということだが、図書館法で規定されているのか。

**(説明者)** 法律では規定されていないが、望ましいとされているものである。

**(仕分け人)** 一般論ということか。法律で定められたものでないとすると、

図書館本館が新設されたことに伴い、分室等を運営していく必要があるのか。運営にあたっての person 費や建物の維持管理費については、市民ニーズを考慮のうえ検討する必要があるのではないかと。

(説明者) 分室ができた経緯としては、市民の身近なところで学習活動ができるという目的がある。今後、施設の老朽化による建替えなどの問題が発生した際に、図書館本館との関係などを整理し、効率的な運営が図れるよう検討していきたい。

(仕分け人) 本の購入の決定はだれが行っているのか。

(説明者) 司書を含む職員が決めている。

(仕分け人) 図書の紛失はあるのか。

(説明者) 平成 22 年度に蔵書点検を実施したところ、131 点であった。

(仕分け人) 今後、高齢者が増加することにより本の選定にも影響していくものと思われる。なお、障害者のための本は設置しているのか。

(説明者) 大型活字本や点字本などを置くとともに対面朗読も行っている。

(仕分け人) 総事業費が約 1 億円と高額であるが、経費の削減をどのように考えているか。

(説明者) これまで、平成 16 年度に正規職員 12 人いたところを、平成 19 年度には 8 人に減らしている。多摩地区の図書館における正規職員の比率を調査したところ、回答のあった 22 市で比較すると、一番高いところでは 52.3%、一番低いところが羽村市の 18.6%であり、平均では 32.4%であることから、かなりの正規職員の削減が図られていると考える。

また、日本図書館協会によると、一般会計予算に占める図書館費の割合は 1%以上が目安となっているが、羽村市では、経費の削減を図ることで、平成 16 年度は 1.03%、平成 17 年度は 1.01%、平成 18 年度は 0.98%、平成 19 年度は 0.87%、平成 20 年度及び平成 21 年度は 0.85%と推移している。

(仕分け人) 使用料及び賃借料の予算が 12,125 千円であるが、主な内容はなにか。

(説明者) 主に本の貸出しや返却に使っている図書館システムのリース代である。

(仕分け人) 本の選定にあたっては、学校などの意見を反映しているのか。

(説明者) 学校からの要望にも応えている。

(仕分け人) 今後の課題、問題点に、「生涯学習施設西棟と一括管理・委託ができるか検討を要する」ということだが、具体的には何をいうのか。

(説明者) 現在、生涯学習施設東棟である図書館と、西棟であるゆとろぎについては、別々に施設管理を行っている。これを一括して管理できれば経費が削減できるのではないかと考える。

(仕分け人) 月曜日の開館を検討できないか。

(説明者) 祝日を除いた月曜日以外は開館している。また、通年で夜 8 時

	<p>までと西多摩地区では最も長い時間開館している。検討はしたが、無料施設であるため、充実すればするほど経費がかかるという問題がある。</p> <p>(説明者) 図書館 3 階にあるマルチメディアコーナーではパソコンが稼働しているが、一方で、産業福祉センターでもパソコンが設置されていると思う。例えば、図書館にあるパソコンを産業福祉センターに移し、図書館と産業福祉センターの住み分けをすることはできないか。</p> <p>(説明者) 情報の検索などに活用されており、利用率も高いことから必要性があると考える。</p> <p>(仕分け人) 職員数のところで、司書というのはどういう職種の方なのか。また、職員数は図書館法に定められているのか。さらに報酬の内容はなにか。</p> <p>(説明者) 司書とは、大学等で単位を履修することによって資格を取得した専門職である。図書館法では、職員数は決まっていない。また、報酬については、司書や図書館協議会委員の報酬である。</p> <p>(仕分け人) 職員数に関する基準はないのか。現状で妥当と考えるのか。</p> <p>(説明者) 基準はないが、妥当と考えている。</p> <p>(仕分け人) 西多摩地域の中で羽村市の図書館は規模が大きいのか。</p> <p>(説明者) それほど大きな差はない。</p>
<p><b>判 定</b></p>	<p>市が実施 事業内容を見直すべきである。</p> <p>【市が実施（改善が必要）5人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分室についてはニーズを把握して縮小を検討し、削減された経費で本館の月曜開館を検討してほしい。</li> <li>・利用者は多いので、本の種類については常に考慮してほしい。</li> <li>・さらに良い図書館となるよう、今後も改善を図っていただきたい。</li> <li>・現状に満足せず改善できることには積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・児童書を除く蔵書については、広域での利用を検討することで、共有が図られ有効に活用できる。広域連携を考えると事業の縮小も検討できる。</li> </ul>